

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 6 日 (2017.4.6)

【公表番号】特表 2015-502929 (P2015-502929A)

【公表日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2015-006

【出願番号】特願 2014-541686 (P2014-541686)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/31

A 6 1 K 8/06

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 1/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 3 日 (2017.3.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水中油エマルションである、局所用の洗い流さない組成物であって、当該組成物は、

(a) 疎水性材料と水溶性活性剤とを含む粒子を油相中に、

(b) 水系皮膜形成樹脂を水相中に

含み、

前記粒子の直径が 75 ～ 525 ミクロンであり、

前記疎水性材料がワセリンを含み、

前記水溶性活性剤は、水溶性ジヒドロキシアセトン、ビタミン（類）、置換尿素（類）、陽イオン性アンモニウム化合物類、レゾルシノール（類）、及びヒドロキシ酸及びこれらの混合物から成る群より選択され、

前記活性剤は、皮膚の特性を向上させ、かつ／または皮膚に有益な成分を含むものであり、

前記組成物中、前記粒子中の疎水性材料および前記粒子中の活性剤の重量／皮膜形成樹脂の重量（ $m + a / r$ ）が 0.05 以上である、前記組成物。

【請求項 2】

前記ビタミン（類）が、パンテノールである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

($m + a / r$) が 0.05 より大きく 3.5 未満である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

($m + a / r$) が 0.1 ～ 6.0 である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記疎水性材料がワセリンである、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

前記樹脂がポリウレタンである、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

前記水系皮膜形成樹脂が 30 ~ 60 重量%の樹脂である、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

前記活性剤が更に着色剤、ビタミン（類）または置換尿素（類）を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

前記活性剤が着色剤を含む、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記着色剤が酸化鉄を含む、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

$(m + a / r)$ が 0.2 ~ 1.0 である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 12】

$(m + a / r)$ が 0.25 ~ 0.5 である、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載の組成物を、皮膚に局所的に塗布するステップを含む、皮膚の特性を向上させる方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

陽イオン性アンモニウム化合物類が使用される場合、これとともに使用するのに好ましい追加の活性剤は、保湿剤、たとえばヒドロキシメチル尿素、ヒドロキシエチル尿素、ヒドロキシプロピル尿素のような置換尿素類；ビス（ヒドロキシメチル）尿素；ビス（ヒドロキシエチル）尿素；ビス（ヒドロキシプロピル）尿素；N，N' - ジヒドロキシメチル尿素；N，N' - ジ - ヒドロキシエチル尿素；N，N' - ジ - ヒドロキシプロピル尿素；N，N，N' - トリ - ヒドロキシエチル尿素；テトラ（ヒドロキシメチル）尿素；テトラ（ヒドロキシエチル）尿素；テトラ（ヒドロキシプロピル）尿素；N - メチル - N' - ヒドロキシエチル尿素；N - エチル - N，N - N' - ヒドロキシエチル尿素；N - ヒドロキシプロピル - N' - ヒドロキシエチル尿素およびN，N' - ジメチル - N - ヒドロキシエチル尿素またはこれらの混合物である。ヒドロキシプロピルという用語が出てきた場合、その意味は、3 - ヒドロキシ - n - プロピル基、2 - ヒドロキシ - n - プロピル基、3 - ヒドロキシ - i - プロピル基または2 - ヒドロキシ - i - プロピル基の総称である。ヒドロキシエチル尿素が最も好ましい。ヒドロキシエチル尿素は、ICIのNational Starch & Chemical Divisionから、Hydrovanceの商標で、50%水性液体として入手可能である。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

本発明の組成物は、望ましい活性剤としてビタミン類を含んでもよい。実例としてのビタミン類は、ビタミンA（レチノール）、ならびにパルミチン酸レチノールおよびプロピオン酸レチノールのようなレチノールエステル、ビタミンB₂、ビタミンB₃（ナイアシンアミド）、ビタミンB₆、ビタミンC、ビタミンE、葉酸ならびにビオチンである。ビ

タミン類の誘導体を使用することもできる。たとえば、ビタミンC誘導体には、テトラヘキシルデカン酸アスコルビル、リン酸アスコルビルMgおよびアスコルビルグリコシドが含まれる。ビタミンEの誘導体には、酢酸トコフェロール、パルミチン酸トコフェロールおよびリノール酸トコフェロールが含まれる。DL-パンテノールおよび誘導体を使用することもできる。ビタミン類の総量は、本発明による組成物中に存在する場合、組成物の0.001～10重量%、好ましくは0.01重量%～1重量%、最適には0.1～0.5重量%の範囲とすることができる。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

特に好ましい実施形態において、ジヒドロキシアセトンのような活性剤、金属酸化物などの着色剤、ビタミン類（たとえばナイアシンアミド）および/または置換尿素類は、疎水性材料を含む粒子中に均質に混合される。特に最も好ましい実施形態において、疎水性材料を含む粒子中に均質に混合される活性剤は、酸化鉄のような金属酸化物である。